地球温暖化対策実施状況報告書

2019 年 8 月 20 日

(報告先)

横浜市長

住所 東京都港区赤坂9丁目7番1号 ミッドタウンタワー コカ・コーラボトラーズジャパン株式会 社 代表取締役社長 吉松 民雄

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

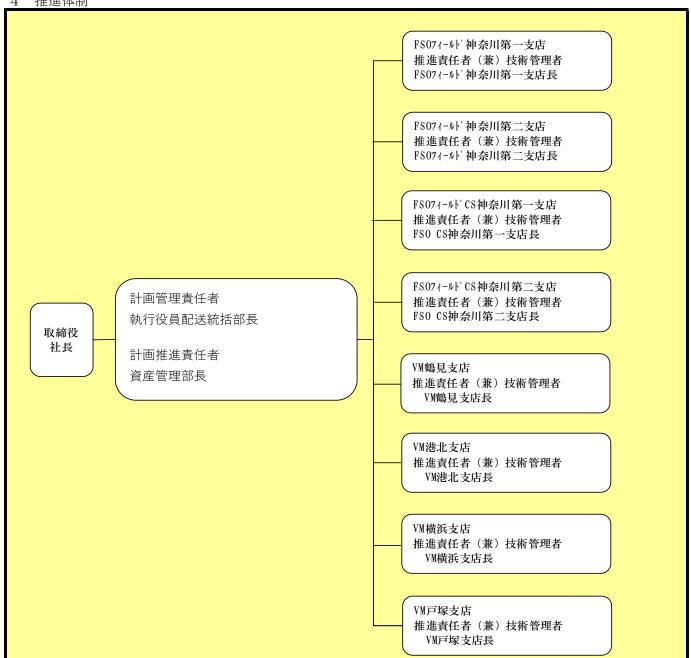
横浜市生活環境の保全等に関する条例(以下「条例」という。)第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 (代表者の氏名)		ボトラーズシ 表取締役社長		会社	(旧 :	コカ	• コー	ライ	ース	トジャノ	ペン株	
事業者の主たる事業所の所在地	東京都港区赤	東京都港区赤坂9丁目7番1号 ミッドタウンタワー										
主たる事業の業種	大分類	大分類 I 卸売・小売業										
土にる事業の業性	中分類 5	分類 52 飲食料品卸売業										
	条例施行	条例施行規則(以下「規則」という。)第89条第1項第1号該当事業者										
	規則第89	39条第1項第2号該当事業者										
該 当 す る 事 業 者 の 要 件	☑ 規則第89	条第1項第3号	分該当事業者									
事業者の要件	地球温暖	化対策事業者	が以外の事業	者(任意	意提出 9	事業者	É)					
	原油換算エネル	ネルギー使用量 kl 自 動 車 の 台 数 101 台										
2 計画期間及び実施年	连度											
計画期間	2016	年度 ~ 2018 年度 実 施 年 度 2018 年度										

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針
[基本方針] ・エコドライブを全社的に展開するとともに、低燃費車などの二酸化炭素の排出の少ない車両の 計画的な導入を図っていく。

4 推進体制



5 公表の方法等

ホ	Э,	ムペ	. —	ジ	アドレス	
					閲覧場所	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 資産管理部
窓	П	で	閲	覧	所在地	東京都港区赤坂6-1-20 国際新赤坂ビル西館
					閲覧可能時間	午前9時から午後5時45分まで
₩				고.	冊子名	
IIIJ				7	入手方法	
そ		の		他		

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況 (第1号及び第2号該当事業者)

		1の抑制に徐る日	示 寸 ツル	(10L (37)		7100日 尹禾百7		
	基準排出	量	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
(年度)	調整	後	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目 標 年 度 (年度)	目標排出	:量	t-CO ₂	削減率	%	口际办平位	削減率	%
排出の抑制に係る 目標の設定の考え 方								
事業者全体として の目標等								
第一年度	排出	量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
(年度)	調整	後	t-CO ₂	削減率	%	が中国	削減率	%
目標等の達成状況 及び説明								
第 二 年 度 (年度)	排出	量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
(平及)	調整	後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況 及び説明								
第三年度	排出	量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
(年度)	調整	後	t-CO ₂	削減率	%	が田が中区	削減率	%
目標等の達成状況 及び説明								
計画期間全体の排 出状況に関する説 明								
								(A4)

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況 (第3号該当事業者)

602 温至効果	// / \	V 737F L	ロヘンか	7制に係る目標	示守 571	八九 (分	3 夕陝三	学来1	3 /		
基準年度	基達	隼排.	出量	423	t-CO ₂				基準原単位		t-CO ₂ /
(2015年度)	調	整	後	423	t-CO ₂				日極医光片		t-CO ₂ /
目 標 年 度 (2018年度)	目相	票排	出量	419	t-CO ₂	削減率	1.0	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る 目標の設定の考え 方	才								、総走行距離 は可能と考え		
事業者全体として の目標等											
	排	出	量	435	t-CO ₂	削減率	▲ 2.8	%	排出原単位		t-CO ₂ /
(2016年度)	調	整	後	435	t-CO ₂			%		削減率	%
目標等の達成状況 及び説明	なっ車上	った。 可の増	排出 加率	量は低燃費車	面の割合	が40.	0%から	552.	加(基準年度 5 %に改善し 1 0 2.8 %	た効果もあり	
	排	出	量	397	t-CO ₂	削減率	6. 1	%	排出原単位		t-CO ₂ /
(2017年度)	調	整	後	397	t-CO ₂		6. 1	%		削減率	%
目標等の達成状況 及び説明	排出	出量は	は稼働		に減少し	た影響で	で、前年	度から	(基準年度比 38tの減少 となった。		となった。
	排	出	量	289	t-CO ₂	削減率	31. 7		排出原単位		t-CO ₂ /
(2018年度)	調	整	後		_	削減率	31. 7	%		削減率	%
目標等の達成状況 及び説明	排出	出量は	t稼働		減少し	た結果、	289	t -C02	i少(基準年度 となって目標 た。		
計画期間全体の排 出状況に関する説 明	度が増えた。	13 de	1 台	減少すること	となっ	た。また	上、乗用	車にお	したが、第三 いては、ハイ 2排出量目標値	ブリッド車の	導入台数が

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模	基準	年度	第一	年度	第二	年度	第三	年度
事業別等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)						
3, 000k 1 以上								
1,500k1以上3,000k1未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k 1 未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

	基準	年度	第一	年度	第二	年度	第三	年度
自動車の区分	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車	39	157	35	126	28	170	25	65
小型貨物自動車	20	64	22	73	19	68	18	62
大型バス	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロバス	0	0	0	0	0	0	0	0
乗用自動車	73	203	86	226	51	149	58	161
合計	132	424	143	425	98	387	101	288
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	40.0	%	52. 5	%	50. 7	%	55. 1	%

9の1 重点対策の実施状況 (第1号及び第2号該当事業者)

90).	■ 息点対策の美施状况(第Ⅰ号及	ひある方的	(日尹未日)							T:						T:					
							第一年度						第二年度						第三年度		
	重点対策	実施状況の 判断を行う 単位	基準年度	対策状況	実施済事業 所数/対象 事業所数	設備の種 類、実施済 設備数/対 象設備数	完了予定年度 (実施中. 未実施 の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業 所数/対象 事業所数	設備の種 類、実施済 設備数/対 象設備数	完了予定年度 (実施中. 未実施 の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業 所数/対象 事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度 (実施中. 未実施 の場合)	未実施・非該 当の理由	実施状況
	1 推進体制の整備	事業者全体 (市内分)			/	_	年度				/		年度				/	_	年度		
	2 主要なエネルギー使用設備の 更新等の検討	事業者全体 (市内分)			/	_	年度				/		年度				/	_	年度		
	3 機器管理台帳の整備	事業者全体 (市内分)			/	_	年度				/	_	年度				/	_	年度		
	4 照明設備の運用管理	事業者全体 (市内分)			/	_	年度				/	_	年度				/	_	年度		
	5 エネルギー使用量の把握	個別票対象 事業所			/	_	年度				/	_	年度				/	_	年度		
	6 各種図面の整備	個別票対象 事業所			/	_	年度				/	_	年度				/	_	年度		
	7 外気導入量の適正管理	個別票対象 事業所			/	_	年度				/	_	年度				/	_	年度		
答	8 フィルター等の清掃	個別票対象 事業所			/	_	年度				/	_	年度				/	_	年度		
第 1 号	9 ポンプ、ファン及びブロワー の適正な流量管理	個別票対象 事業所			/	_	年度				/	_	年度				/	_	年度		
ル 及 び	10 変圧器の需要率管理、効率管 理	個別票対象 事業所			/	_	年度				/	_	年度				/	_	年度		
第 2	11 室内温度の適正管理	事業所			/	_	年度				/	_	年度				/	_	年度		
号該	12 地下駐車場の換気管理	事業所			/	_	年度				/	_	年度				/	_	年度		
当事	13 照明設備の高効率化	事業所			/	_	年度				/	_	年度				/	_	年度		
業者	14 事務所機器の待機電力管理	事業所			(設備の種類)	_	年度				(設備の種類)	_	年度				(設備の種類)	_	年度		
	15 機器性能管理	設備			(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度		
	16 冷凍機の冷水出口温度管理	設備				/	年度					/	年度					/	年度		
	17 燃焼設備の空気比管理	設備			(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度		
	18 排出ガス温度の管理	設備			(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度		
	19 蒸気配管のバルブ等の保温	設備				/	年度					/	年度					/	年度		
	20 工業炉表面の断熱強化	設備			(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度		
	21 コンプレッサの吐出圧の適正化	設備			(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度		
	22 コンプレッサの吸気管理	設備			(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度				(設備の種類)	/	年度		

9の2 重点対策の実施状況 (第3号該当事業者)

		実施状況の					第一年度						第二年度						第三年度		
	重点対策	判断を行う 単位		対策状況	実施済事業 所数/対象 事業所数	実施済車両 台数/対象 車両台数	完了予定年度 (実施中. 未実施 の場合)	未実施・非該 当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業 所数/対象 事業所数	実施済車両 台数/対象 車両台数	() N N N N N N N N N N N N N N N N N N	未実施・非該 当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業 所数/対象 事業所数	実施済車両 台数/対象 車両台数	完了予定年度 (実施中. 未実施 の場合)	未実施・非該 当の理由	実施状況
第	23 推進体制の整備	事業者全体 (市内分)	実施済	実施済	8/8	_	年度			実施済	8/8	_	年度			実施済	8/8	_	年度		
カ	24 日勤年の過止な民用日生	事業者全体 (市内分)	天.旭.(月	実施済	_	163/163	年度			実施済	_	148/148	年度			実施済	_	101/101	年度		
該当	25 エネルギー使用量等に関する データの管理	事業者全体 (市内分)	実施済	実施済	_	163/163	年度			実施済	_	148/148	年度			実施済	_	101/101	年度		
事業	26 エコドライブ推進体制の整備	事業者全体 (市内分)	実施済	実施済	8/8	_	年度			実施済	8/8	_	年度			実施済	8/8	_	年度		
者	27 自動車の適正な維持管理	事業者全体 (市内分)	実施済	実施済	8/8	_	年度			実施済	8/8	_	年度			実施済	8/8	_	年度		

細則第38号様式(第2条第49号) (総括票)

- 10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

 - (注意事項) ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量 事業者約	量合計 総排出量		事業者》 (t-	総排出量 C02)	C02排出 (t-	量合計① CO2)				C02排出 (t-	量合計② -C02)	削減: (t-	量合計 CO2)
\±			% 対策の		実施育	fi				実施後					
番	具体的な対策	事業所名	対策の 実施年度 (西暦)	実施前の運用状況/設備状況	燃料· 種別	熱・電気等の使用量	使用量 単位	C02排出量 (t-C02)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・種別	熱・電気等の 使用量	使用量 単位	C02排出量 (t-C02)	削減量 (t-C02)	投資金額
					作里力リ	使用重	中亚	(1-002)		作生力	(欠/// 里	平位	(1-002)	(1-002)	千
															Ŧ
															Ŧ
															Ŧ
															Ŧ

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1		年度			
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基	準年	度ま	きで	の対	策	
計実	画施	期す	間る	内対		
第	_	年	度	実		特になし
第	<u> </u>	年	度	実		特になし
第	Ξ	年	度	実	績	特になし

14 実施状況等に対する自己評価

年度末の在籍台数は基準年度の132台から101台に減少した。 台数の大幅減少によってCO2排出量も計画最終年度の目標値を下回る結果となった。 また、低燃費車の導入割合は前年の50.7%からわずかに増加し55.1%と高い数値を維持できている。 新規の計画においても目標達成に向けて各施策の実施を進めて参ります。